

情報教育だより

宮城県立光明支援学校

2025年11月27日(木)

教育情報化推進リーダー

No. 2 担当 加藤 明日香

本校のICT活用の様子をお伝えします。

前期は、小学部A課程、中学部B課程、高等部A課程の学習の様子をお伝えしました。今号は、小学部B課程、中学部A課程、高等部B課程の様子をお届けします。

小学部B課程



低学年「ゆうぐであそぼう」
遊びの指導の時間に、「遊具であそぼう」のオリエンテーションを行いました。スクリーンに映し出された写真を見ながら、学習で使用する遊具や遊び方などを確認し、これから始まる学習への見通しや期待感を持つことができました。



中学年「夏休み明け集会」

夏休み明け集会では、一人ひとりが夏休みの思い出を発表しました。それぞれが作成してきた「なつやすみの思い出」の写真やイラスト、作文を見ながら、楽しかったことや心に残ったことなどを伝え合うことができました。

中学部A課程

音楽を聴きながら
秋のリース作り♪



今年度から大型モニターを導入しました。画面の明るさや色などがスクリーンよりも鮮明に感じられ、とても見やすくなりました。生活単元学習のオリエンテーションや音楽、自立活動などの学習で活用しています。

また、生活単元学習の活動中に季節に合わせた音楽を流すことで、季節感を味わえるようにタブレット端末を使用しながら、活動に取り組んでいます。

高等部B課程

離れていても、心はひとつ ～Zoomで朝の会に参加～



毎朝、教室では元気な挨拶が響きます。最近では、登校が難しい生徒も、Zoomを使って朝の会に参加しています。画面越しに手を振ったり、みんなの話にうなずいたりする姿に、クラスメイトも自然と笑顔になります。

ICTの力で、離れていても“つながる”ことができる今。この朝の会が、クラスにとって大切な時間となっています。